

スポーツ外傷・障害に関する研究のお知らせ

帝京大学スポーツ医科学センター、帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年7月22日 ～ 2025年 3月 31日

〔研究課題〕

スポーツ外傷・障害の発生頻度と治療成績に関する後ろ向き研究

〔研究目的〕

本研究では、これまでに帝京大学スポーツ医科学センターおよび帝京大学整形外科に蓄積されたカルテのデータを調査・解析することで、過去そして現在のスポーツ障害の発生頻度と治療成績を明らかにします。

〔研究意義〕

スポーツ外傷・障害は、受傷機転が明確な骨折だけでなく、疲労の蓄積から発生する疲労骨折や鉄欠乏性貧血などがあり、その種類は多岐にわたります。また、治療においては完全な治癒が得られていない状況であっても、競技上の理由で運動を継続・再開しなければならないというジレンマがあります。これらの特徴のために、スポーツ外傷・障害に対しては診療録に記載された過去のデータをふりかえる研究（後ろ向き観察研究）が非常に有用な手法として盛んに行われ、スポーツ外傷・障害の予防や治療に貢献しています。本研究の解析で得られた知見を学会・論文を通じて医療レベルの向上を図るとともに、今後診療をうけていただく症例に良質な医療を提供するための資料として活用することで更なる治療成績の向上を目指します。

〔対象・研究方法〕

診療録を用いた後方視的症例観察研究を行います。当大学スポーツ医科学センターおよび当大学整形外科で2011年4月から2019年6月まで診療を行った症例を対象に、診療の際に得られた情報や画像、血液・尿などの既知のデータを用いて、スポーツ外傷・障害の発生頻度および保存治療あるいは手術治療による変化を収集し、分析・検討します。対象疾患はスポーツ外傷・障害であり、スポーツ活動中やスポーツ活動の蓄積で発生した外傷、感染、変性によって四肢および四肢関節あるいは脊椎・骨盤、頭部に生じるものおよび全身性の疾患です。代表するスポーツ外傷は、四肢の骨折・脱臼、筋・腱・靭帯・軟骨損傷、脊椎外傷、末梢神経疾患、頭部外傷、スポーツ障害は疲労骨折、貧血、エネルギー不足、骨粗鬆症、月経異常です。

〔研究機関名〕

帝京大学スポーツ医科学センター、帝京大学医学部整形外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報の保護に留意し、匿名化・保管・破棄の方法に配慮します。

〔その他〕

研究参加による経済的な利益は発生しません。また、研究参加の有無、研究結果が成績や評価に関わることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

帝京大学医学部整形外科学講座

大学院生

塚田圭輔

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1

TEL: 03-3964-1211(代表) [内線 33703]